

岐阜県内に製材工場用地取得

24年9月稼働を予定

ウッドフレンズ

建設予定地



ウッドフレンズ（名古屋市長、林知秀社長）は20日、岐阜県美濃加茂市と同加茂郡八百津町にまたがる製材工場用地6万4591平方メートルを取得したと発表した。2024年9月の新設製材工場稼働を予定しており、土地と設備の総投資額は約60億円の見込み。

同社は11年に岐阜県養老郡にプレカット及び集成材生産の「森の工場」を稼働し、14年には住宅用木質パネルの生産を開始。構造材のほか、階段やキッチンカウンターなどオリジナル建材の開発も進め、20年に国産杉の木製外壁「ウォールウッド」、21年にRウッドの木製サッシ「ウォールウッド」を開発し、自社住宅への採用を進めている。木材を余すことなく活用する「木材カスケード事業」を実践するべく、敷地内には工場建屋、製材設備、木質バイオマス発電設備ほかを設置。地域の森林事業者とも連携し国産木材の安定的かつ持続的な供給体制を整える。